

へいわぎょうせいすいしんじぎょう
平和行政推進事業・・・約1,100万円

平1945年（昭和20年）9月7日、旧越来村森根（現在の嘉手納空軍基地内）において、日本とアメリカの間で沖縄戦の降伏調印式が行われ、公式に沖縄戦が終結したことから、平成5年より沖縄戦終結となる9月7日を「沖縄市民平和の日」と条例で定め、8月1日から9月7日までを「平和月間」と位置付けて様々な事業に取り組んでいます。

主な取り組みとしては、各中学校から推薦された中学生16名と公募によって選ばれた社会人3名を平和大使として認定し、研修をとおして平和の大切さや生命（いのち）の尊さを学び、平和の心を未来へ継承するほか、市民と共に取り組む平和月間企画展等を開催します。また、沖縄戦に関する証言記録等を市民が日常的に活用し、市民自ら平和の創造に向け取り組むことができるよう、平和に関するコンテンツサイトの構築に取り組めます。



せんごぶんかしりょうとうてんじじぎょう

戦後文化資料等展示事業

・・・約1,000万円

沖縄市は全国的にも極めて個性的な戦後史を歩み、ユニークな文化を育んできました。この戦後史（文化）をまちづくりに活かそうと、沖縄市では商店街（パルミラ通り）にヒストリート・ヒストリートⅡという空き店舗を利用した展示室を設けました。ヒストリートでは常設展とともに年に数回の企画展を開催するとともに、「KOZA BUNKA BOX」という情報誌を発刊して本市の戦後文化情報を発信しながら、修学旅行生、大学関係者、観光客等を通りに誘客し、中心市街地の活性化に寄与しています。



としょかんけんせつすいしんじぎょう

図書館建設推進事業

・・・約1,400万円

今の沖縄市立図書館は、建てられてから30年がたち、図書館がせまいことと駐車場が少ないことが問題となっています。そのため沖縄市は、平成23年から平成27年までの沖縄市の計画のなかに「新しい図書館づくり」ということを入れて、沖縄市中央にあるコリンザ1階に図書館の整備を目指しています。

ぶんかざいせいびじぎょう

文化財整備事業

・・・約1,900万円

先人たちの残した文化財を整備し、学習や観光などに役立てます。今年は「美さと児童園」敷地内にある奉安殿・忠魂碑の修理工事を行います。また、各集落に文化財の説明板や地図をつくっていきます。



がっこうたいいくしせつかいほうじぎょう

学校体育施設開放事業

・・・約2,100万円

沖縄市内の小中学校体育館・中学校運動場（沖縄東中学校除く）を午後8時～10時まで開放しています。

この事業は、地域住民のスポーツをする場として学校体育館・運動場を利用してもらい、チームの強化や健康維持・増進のため役立ててもらおうための事業です。

